大学等では代表大学等) 大学等では代表大学等)会社の大学であった。 大学等のは代表大学等の学校・一下 大学等のは代表大学等の学校を一下 大学等のは代表大学等の学校を到 日立富亨 日日名 インターンシップA 「独立学科、電気信仰工学科、生物の円化 を表して、大学等のでは、大学等のでは、大学等のでは、大学等のでは、大学等のでは、大学等のでは、大学等のでは、大学等のでは、大学等のでは、大学等の学校を到 日本の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の一方の	
大学等名1(代表大学等)等体体部が企用	
大学等81(代表大学等)子校本部所在地 大学等81(代表大学等)子校を設 利耳名 インターンシップA 環域工学科、電気情報工学科、電子制御工学科、生物の市化・ 対対工学科 ・ 電気相互学科、電子制御工学科、生物の市化・ 対対工学科 ・ 電気音報要称中度 ・ 会議者教養化中度 ・ 会議者教養化・中央・シップ参加者数 ・ 名の (株) ライトウェル、(株) ハートネットワーク、(株) の (株) カイト・ネットワーク、(株) の (株) カイト・ネットワーク、(株) の (株) カイト・スットワーク、(株) の (株) カガエ来 (株) (株) バカエ来 (株) (株) ボカエ来 (株) (株) ボカエ来 (株) (株) ボカエ来 (株) (株) ボカエ来 (株) (株) ボカエネ (株) (本) ボカエネ (株) (株) ボカエネ (株) (ボカエ・アーク・ファン フリン・フリン (株) 他33組牌 (4) 第末のインターンシップ ・ 3. 中央・企業等でのインターンシップ ・ 3. 中央・企業等でのインターンシップ ・ 1. は、 1. 本の体 (大) エカエ (株) (地) エカエ (株) (地) エカエ (本) (地) (地) (本) (地) (本) (本) (地) (本) (地	
大学等を1(代表大学等)学校運測	
株日名	
# 14名	
学部・研究科等名	
 養護者数実領年度 会和3年度 養護者数第インターンシップ参加者数 48 安企業等数 (株) ラフレ、東芝目コントロールシステム(珠)、(株)、(株)、(株) フレ、東芝目コントロールシステム(珠)、(株)、(株) フリー、(株)、カートネットワーク、(株)、ロ、(株) フィトウェル、(株)、カーシェ・フーク、(株)、イージーエス(株)、新和工業(株)、(株) 西条環境分析センタ(株)・インターンシップの分類 1. (株) ・ 付き、(株) ・ インターンシップ (株) ・ でのインターンシップ (株)・ でのインターンシップ (株)・ でのインターンシップ (株)・ でのインターンシップ (本)・ 大学、大学院、児や国等の機変でのインターンシップ (本)・ 「本)・ 「本)・ 「本)・ 「本)・ 「本)・ 「本)・ 「本)・ 「	,学科、環境
2	
 	
 	
□、(株) ライトウェル、(株) ハートネットワーク、(株) 受人企業等名 □、(株) 素和工業(株)、(株) 西条環境分析センタ (株) イージーエス、(株) 新来島どっく、(株) セラテッ エ (株) 他33機関 5.他県をまたで広域インターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 11.その他 上記以外のインターンシップの分類(記述権) □・1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。 1.はい 1-2.該当する就業体験 1.とで第3-その他」の就業体験の内容 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBLを ム、課題解決ワーク、課題事例研究等) 1.とで第3-その他」の就業体験の内容 企業等が設定したと実剤期間、失胃内容(ケーマ)等から、学・ 断により要入企業等を選定し、実習を行う。企業等における。 事の他、課題解決ワーク等、実習内容は様々である。 2-1.当該インターンシップを実施しおいて、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位都定が行わ かたていますか。 2-2.該当するインターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位都定が行わ かたていますか。 2-2.該当するインターンシップの内容 3.当該インターンシップは、運営科目として実施している 6.当該インターンシップは、運営科目として実施している 6.当該インターンシップは、保禁期間中に実施している 6.当該インターンシップは、体業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、体業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、体業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、体業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、体業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、体業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、体業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、体業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、体業期間中に実施している 8.等専門学校 4年	
5.他県をまたぐ広域インターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 11.その他 大学、大学院、県や国等の機関でのインターンシップ 11.その他 大学、大学院、県や国等の機関でのインターンシップ 11.との他 1.企業等における業務への従事 1.と談当する就業体験 1.企業等における業務への従事 2.企業等における業務への従事 2.企業等における業務のの従事 2.企業等における業務のの従事 1.2.で「3.その他」の就業体験の内容 企業等が設定した実型期間、実置内容(テーマ)等から、学師により受入企業等を遺定し、実習を行う。企業等における。事の他、課題解決ワーク等、実習内容は様々である。 1.はい 2.1.当該インターンシップを下規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの内容 1.はい 1.はい 2.1.当該インターンシップをと、体系的なアログラムとして単位認定が行われていますか。 2.1.当該インターンシップの内容 3.当該インターンシップは、連門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、連門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、連門教育科目として実施している 8.当該インターンシップは、連門教育科目として実施している 8.当該インターンシップは、体業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、体業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、体業期間中に実施している 6.当該インターンシップは、体業期間中に実施している 6.当該インターンシップを実施する年次 6.等専門学校 2単位	を) タイワ、 ター、
8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 11.その他 大学、大学院、県や国等の機関でのインターンシップ 11.その他 大学、大学院、県や国等の機関でのインターンシップ 1.はい 1.企業等における業務への従事 1.企業等における業務への従事 2.企業等における業務への従事 2.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBLE	
9.中小企業でのインターンシップ 11.その他	
11.その他	
上記以外のインターンシップの分類(記述機)	
1-2.該当する就業体験	
1-2.該当する就業体験	
2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBLを	
1-2. で13. その他」の航業体験の内容 企業等が設定した実習期間、実習内容(テーマ)等から、学生 1-3. 上記回答内容に関する詳細 企業等が設定した実習期間、実習内容(テーマ)等から、学生 断により受入企業等を選定し、実習を行う。企業等における 事の他、課題解決ワーク等、実習内容は様々である。 2-1. 当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。 2-2. 該当するインターンシップの内容 3. 当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 4. 当該インターンシップは、必修科目として実施している 6. 当該インターンシップは、殊期間中に実施している 8. 当該インターンシップは、休業期間中に実施している 8. 当該インターンシップは、休業期間中に実施している 高等専門学校 4年 高等専門学校 2単位	型プログラ
1-3.上記回答内容に関する詳細	
バス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	
要素 4.当該インターンシップは、必修科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している 2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容 2-3.当該インターンシップを実施する年次 高等専門学校 2単位	
要素 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容 2-3.当該インターンシップを実施する年次 高等専門学校 2単位	
要素 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している 2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容 高等専門学校 4年 高等専門学校 2単位	
要素 2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容 2-3.当該インターンシップを実施する年次 高等専門学校 4年 高等専門学校 2単位	
** 2-3.当該インターンシップを実施する年次 高等専門学校 4年 高等専門学校 2単位	
2-4.当該インターンシップで付与される単位数	

	2-5.上記回答内容に関する詳細	本科4年次においてインターンシップA (2単位)、またはインターンシップB (1単位)を専門教育科目として実施しており、生物応用化学科においては必修科目、その他の学科においては選択科目としている。また、インターンシップは、夏季休業期間中に行う。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当 社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	外部講師による事前マナー講習会への参加を必須としている。また、インターンシップ先について、必ずその業務内容、製品、研究内容などについて事前学習を行っている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	インターンシップ終了後、報告書を作成して振り返りを行うこととしている。また、学内でインターンシップ報告会を実施している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	学生のインターンシップ期間中に担当教員による企業訪問を実施している。その際に学生との面談・声掛けの実施や、学生の成果発表の場に参加している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	シラバスにおいてルーブリックを整備し、共有している。
	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している

		3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5 日間以上の実施期間を確保している
要素⑤	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	10日間以上
	-	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	複数の実習先で合わせて10日間以上
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	実働10日間以上インターンシップに参加することとしている。1つの実習先で10日間を確保できない場合は、複数の実習先のインターンシップに参加して、合計10日間以上の実習期間を確保するよう、指導している。
	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
要素⑥	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	実習証明書において受入企業等に学生の評価をお願いしている。また、 企業等の担当者と企業訪問時や面談の際にインターンシップの内容や期 間等に関して打ち合わせを実施している。
	7.上記①~⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus.kosen- k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=40
	大学等名	新居浜工業高等専門学校
問い合わ	担当部署名	学生課 教務係
	担当者役職名	係員
	担当者氏名	亀岡 正寛
) せ 先	電話番号	0897-37-7724
先 	メールアドレス	kyoumu-c.off@niihama-nct.ac.jp